入札仕様書②

１　「超音波診断装置」の本体について、以下の要件を満たすこと。

1-1 本体寸法は横幅420mm、奥行き670mm以上であること。

1-2 本体重量は移動を考慮し65kg以上であること。

1-3 エルゴノミクスを考慮し側面に電子系プローブ接続コネクタを3個以上備えていること。

1-4 本体内蔵のDVD/CDドライブを有すること。

1-5 観察用モニターはLEDタイプの17インチ以上で解像度は1280x1024 以上であり、

操作パネルを明るくするタスクランプと音声録音用マイク内蔵であること。

1-6 DICOM 3.0に準拠したデータ通信機能を有すること。

1-7 USBメモリースティックに直接録画できること。

1-8 バッテリーを有しACコンセントを抜いても電源が落ちずスキャンを継続できること。

1-9 最大表示深度は36cm以上であること。

1-10検査時に保存した画像はアーカイブ内にRaw DataファイルおよびDICOMデータ

ファイルとして保存可能であること。

1-11 患者名を匿名化し、データ登録・保存・取り出しができること。

1-12　HDD 画像保存容量は450GB以上を有すること。

２　走査モードに関して、以下の要件を満たすこと。

2-1 Ｂモード

2-1-1 プローブによっては周波数は3段階で切り替え可能であること。

2-1-2 SRIは５段階以上の調整が可能であること。

2-1-3 CRIは８段階以上で調整可能であること。

2-2 Mモード

2-2-1 ６段階以上のスイ-プ速度が選択が可能であること。

2-2-2 カラードプラ信号のMモードが可能であること。

2-3 パルスドプラ

2-3-1 サンプリングポイント（ゲート）幅の調節は12段階以上可能であること。

2-3-2 Updateモードで、PWがLiveの場合に、サンプリングゲートを動かすと2D＋CFMが

自動的にLiveに切り替わり、サンプリングゲートの移動が止まると自動的にPWが

Liveになること。

2-4 カラードプラ

2-4-1 カラーマップは、８種類以上備えていること。

2-4-2 通常のパワードプラとは別に、高感度でかつはみ出しを抑えた血流方向を表示可能

なパワードプラを有すること。

３　プローブに関して、以下の要件を満たすこと。

3-1 経腹プローブ

3-1-1 周波数は2.0MHz～5.0MHzの範囲以上であること。

3-1-2 視野角は81°以上であること。

3-2 経膣プローブ

3-2-1 周波数は2.9MHz～9.7MHzの範囲以上であること。

3-2-2 視野角は181°以上であること。

3-3 表在用プローブ

3-3-1 周波数は4.0MHz～12.0MHzの範囲以上であること。

3-3-2 視野幅は37mm以上であること。

４　記録装置（白黒プリンタ）に関して、以下の要件を満たすこと。

4-1 印刷方式は感熱記録方式であること。

4-2 256階調以上であること。

4-3 デジタル式 USB接続であること。

５　その他

5-1 経腹プローブに3段階以上角度変更可能な穿刺ガイドが装着できること。